

領域	専門分野 I	授業科目	基礎看護学概論	単位 (授業時間/時間数)	1 (28/30)
開講年次	1年次	開講時期	前期	授業回数	14回
担当講師名	専任教員		講師所属	福岡水巻看護助産学校	
特記事項	実務経験のある教員による科目			臨床 (病院) での看護師の実務経験をふまえ臨床に即した授業・演習を行なう	

授業のねらい

この授業では、看護とは何か、看護師とはどのような職業かを学ぶ。人を世話するにあたって基本となる姿勢・考え方や、どのような援助が人のためになり、または人のためにならないかなどについて学んでいく。「人の役に立ちたい」という気持ちを、実際の行動として具現化する方法を学んでいくことで、看護を志す初学者としての基本的な“考え方”を身につけてほしい。

授業概要

1	看護の本質とはなにかについて、つねに考える態度を身につけるため、看護の歴史の変遷と、
2	様々な理論家による看護のとらえ方、看護職能団体による看護の定義を理解する。
3	日本における看護職の資格と養成制度、看護職者の就業状況、継続教育の概要を理解する
4	看護におけるケアとは何かを理解し、看護実践に必要な要素、看護実践の質の保証に必要な要件を学ぶ。
5	一人の患者の入院から退院までの事例を通じて、看護の継続性と多職種連携の実際、その重
6	要性について理解する。
7	「こころ」と「からだ」にかかるストレスの影響など、理論を通して、看護実践にどう活用さ
8	れるのかを理解する。(事例展開)
9	医療・看護における倫理の歴史の変遷を学び、どのような倫理的問題があるのかを知ることで、なぜ倫理を学ぶ必要があるのかを理解する。
10	倫理原則を理解し、倫理的問題や倫理的ジレンマの解決をどのように図るのかを学び、倫理を
11	学ぶ必要性について理解する。
12	事例をもとに、対象理解の基盤となる人体の構造と機能・病態生理が看護実践にどう結びつく
13	のかを理解し、その重要性を学ぶ。(ヘンダーソンの理論を用いてアセスメント)
14	
15	終講時試験

授業の進め方

「看護とは何か」について、考えながら受講する。講義は一斉講義、GW、発表など取り入れて行うので自身の考えを述べられるようにしておく。ポイントを示すので、各自でノート、資料作成を行う。
 予習：指示された箇所について、ノート整理をして講義に臨む。
 復習：講義で紹介した様々な用語の概念や定義について、復習し理解を深める。

教科書

系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護学 [1] 看護学概論 (医学書院)

副読本

「あなたの声が聞きたい」(佼成出版社)、「看護覚え書決定版」(現代社)
 「看護過程を使ったヘンダーソン看護論の実践」(ヌーヴェルヒロカワ)

評価方法

終講時 客観式テスト (100点)

試験時間は時間数に含む。(まとめ1時間、試験1時間)

出席、終講時試験、レポート、発表、課題、提出状況等を踏まえて総合的に評価する。